

# 南の風

—第3号—

あっという間に春が過ぎ去り、梅雨入りとなりました。暑い夏を目前に控え、感染症対策をしながら、日々の教育活動に取り組んでおります。今月は、各学部の授業の様子を紹介します。

## 小学部

今年の小学部は、例年よりもちょっと少なめのメンバーでスタートしました。でも、子どもたちの元気はいつもどおり！教室で、病棟の部屋や学習室で、勉強にも遊びにも熱心に取り組んでいます。

教室組は3～6年生合同で「大きな地震に備えよう」という学習を行いました。地震の映像を見てから、「頭を守るには？」と考えたり、「教室の周りで危険な箇所は？」と見て回ったりして、皆で「自分のこと」として一生懸命考えました。調べたことは学年を越えたグループを組んでまとめ、皆の前で発表しました。



病棟組の2年生は、学習室で「長さの単位」の学習に取り組みました。「物の長さを比べるにはどうすればいい？」と皆で考え、意見を出し合い、長さの単位についての考えを深めることができました。

一人で勉強している子どもたちも、「つなぐ」ことで画面越しに触れ合ったり、手紙のやり取りをしたりと工夫しながら交流を深めています。

今年も友だち同士の関わりを大切に、日々を過ごしていきたいと願っています。



## 中学部

### <共通体育 ～アダプテッド・スポーツ～>

「アダプテッド・スポーツ」とは、一人ひとりの発達や身体の状態に合わせ、ルールなどを柔軟に変更できるスポーツやレクリエーション全般を表す言葉です。毎週月・木曜の1時間目に行われる共通体育では、全学年が集まること、車いすや独歩など様々な実態の生徒がいることから、アダプテッド・スポーツの視点でルールを生徒と一緒に考えて活動しています。

ここでは、1学期に取り組んだウォーキングサッカーについてご紹介します。

### ウォーキングサッカーとは・・・

ウォーキングサッカーはイギリスで始まり、国際大会が開催されるほど世界で取り組まれ、競技のほか運動予防医療としても注目されています。

ルールは公式ルールにある「歩く」「強く蹴らない」「ボールの高さは腰まで」「フィジカルコンタクトをしない」を基本とし、車いすの生徒については「フィールド外に出たボールのスローイン」「得点が入ったら、車いすの生徒がPKの形でボールを転がし、ゴールが決まったら追加点」などの特別ルールを生徒と一緒に考えて活動しました。



## 重心部門

重心部門では、今年度より学級編成が変わり、小学部、中学部、高等部と学部ごとに集まって授業を行っています。感染症対策により、あまり交わることのなかった違う居室の仲間たちとの活動で、児童生徒たちは様々な表現を見せてくれています。

今年度中学部では、施設内で修学旅行代替の体験学習を実施いたしました。修学旅行先である「みなとみらい」をテーマに、中学部の生徒が一丸となって「ランドマークタワー」や「赤レンガ倉庫」の背景を作成しました。また、横浜中華街の散策を行う際は、下級生の生徒たちが店員になりきって中華まんや蒸し栗の店の疑似体験を行い、その活動の中で関わりを深めあう姿がとても印象的でした。



### 7月 行事予定

1日(月)	個人面談期間(小・中学部) 短縮4校時(~5日)	17日(水)	中高生スポーツ大会 (中学部 体育館) 小学部6校時授業
8日(月)	個人面談期間(小2組~12日) 通常日課	18日(木)	午前日課(~19日)
12日(金)	歯科講話(中学部 13:00~)	19日(金)	終業式(10:40~ 講堂)
		21日(日)	夏季休業(~8月31日)